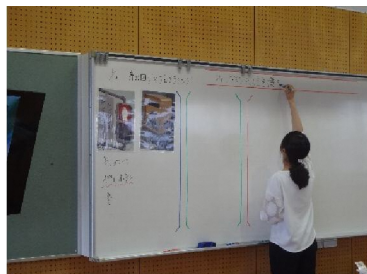


## 千年小学校 ～ICT を効果的に活用した授業改善～

5月31日（金）千年小で県重点課題研究の取組としてプログラミング学習の授業研究会が行われました。5年生のプログラミング学習を参観してきました。小学校で学習を積み重ねてきた生徒が中学校に入学してきます。私たちも生徒の学習状況を知っておくことは大切だと思います。



- ① 今回は歩行者用信号機のプログラミングの学習でしたので、前時の学習を振り返りながら、「めあて」のキーワード「押しボタン」を提示し、子ども達が各自で考えていました。
- ② 次に問題解決の見通しを確認し、ペアでプログラミングについて話し合い、タブレットで操作し、実際に信号機を光らせていました。
- ③ 子ども達はペアで実際に信号機をもちながら会場に作られてある横断歩道を渡り、信号機点滅する長さ等を確認し、目的に合ったプログラミングを考えていました。（都会の広い横断歩道と身近な所にある狭い横断歩道と比較しながら）
- ④ 代表のグループが作ったプログラミングを紹介し、相違点や共通点について話し合い、基本プログラミングの一部を変えれば、色々な目的に合ったプログラミングを考えることができるということを、「めあて」を振り返りながら学習のまとめをしていました。



手作り横断歩道

アプリで操作

■本校でも ICT を活用した協働学習に取り組んでいます。生徒の思考がより活発に働き、一連の問題解決過程の各段階（問題の発見・解決の見通し・個での解決・グループやペアでの解決・まとめ・振り返り）に ICT をどう位置づけて活用を図るかが重要です。6月13日は校内研で中島先生が提案授業をします。不定詞の活用についての授業です。毎日、遅くまで残りながら指導案を書き上げていました。私たちもその頑張りに応えていきましょう。各学年での役割分担をして、中島先生を支えていきましょう。

## 中体連大会に向けて

大会に向けて部活動の「目標」は（ ）、では「目的」は（ ）  
先生方は（ ）の中にどんな言葉を入れるのでしょうか？

「目標」と「目的」は違います。簡単に言うと、「目的」というゴールがあり、それに到達するまでの過程に立てられるものが「目標」。その為、目的は長期的なもの、目標は短期的なものが設定されます。

中体連ブロック大会に向けて残り1ヶ月を切りました。今まで、それぞれの部活動でドラマがあり、いろいろな問題や課題もあったと思います。生徒達と向き合い、話し合いながら解決してきたことも多かったことと思います。3年生は部活動に入部して2年。大きく成長した姿を見ることができます。私も試合を見たり、放課後の練習を見ると上手くなったと感じます。大会に向けて、練習をすることはたくさん有ると思いますが、生徒達の成長を褒め、伝えて、大会を迎えてください。よろしくお祈りします。大会の結果が、どんな結果であっても部活動で学んだことは、その後の「学校」という舞台上、または、これからの人生で必ず活かされると思います。そんな夢や思いを伝えられるのは顧問の先生方です。どうぞ、ありったけの気持ちを生徒にぶつけて、大会当日を迎えましょう。